

しろやま

【学校教育目標】

学校HP QRコード→



ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成

御船小学校 学校便り

令和6年9月24日（火）

文責：校長 濱本竜一郎

平和への思い強く・修学旅行 ～6年生が行ってきました～

9月18日（水）～19日（木）、6年生が長崎に修学旅行に行ってきました。

1日目の平和学習は、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館での平和集会から始まりました。一人一人が言葉の意味を理解し、呼びかけた大きな声、そして、歌が会場中に響き渡りました。祈念館の山口さんが「御船小の6年生の大きな声と真剣な表情に感動しました。」とおっしゃっていました。わたしも子供たちの表情を見て、歌声を聞いて、涙が出ました。

次に、被爆体験を持つ語り部の八木道子さんの講話でした。1時間という時間が短く感じられました。原爆が投下される前の様子、そして、後の様子を、当時の子供目線で話してくださいました。子供たちにとって大変分かりやすいお話でした。最後に、「平和のバトンをつなぐ」と言って、お礼の言葉を述べた二人と固く握手を交わされました。

そして、原爆資料館の見学、長崎さるくガイドの方々の案内で原爆遺構のフィールドワーク。子供たちはみんな、一生懸命にメモを取りながら参加していました。熱中症警戒アラートが発令される中、熱中症対策として、時間を短縮しながら実施しました。

1日目の終わりに、長崎市街地の夜景が美しいホテルに移動しました。ホテルでは、他のお客様に迷惑をお掛けすることなく、大いに楽しんでいました。

2日目のスタートは、お土産を買うことから始まりました。お小遣いは、6000円。その中で、計算しながら、買い物をしていました。

そして、いよいよハウステンボスです。班別行動です。班のみんなのリクエストを聞きながら、アトラクションやレストランを選びました。全員時間内に、集合場所にたどり着きました。



校長の独り言

「やさしい人になる。みんなのやさしい姿をたくさん見せてほしい。」
出発式でこう話しました。2日間を通して、子供たちのやさしさがあふれる修学旅行でした。6年生のことが、大、大、大好きになりました。

